

第97回 地域医療連携セミナー

地域連携で高める整形外科診療
-大学病院からの最新知見と紹介の最適化-

2026年 9月3日(木)
19:00 - 20:00

担当：整形外科

富山大学附属病院 総合臨床教育センター2階 多目的研修室
Zoomによるハイブリッド開催

内容

1. 変形性膝関節症の地域連携戦略 — 保存療法から手術までの最適な橋渡し
整形外科 診療助手 上嶋 亮
2. 古くて新しい？当科のCTベースナビゲーション人工股関節全置換術
整形外科 診療助手 平岩 利仁
3. 腰痛・下肢症状を呈する患者をどう診るか — 脊椎脊髄外科診療の実際
整形外科 助教 牧野 紘士

●本セミナーにご参加、ご視聴いただいた先生方は、日本医師会生涯教育制度についての単位取得ができます。(6:1:1単位)

【ご希望の参加形式を選択の上、事前申し込みをお願いいたします】

<会場参加を希望>



<Web参加を希望>



【お問い合わせ先】

富山大学附属病院 医療福祉サポートセンター

☎ 076-415-8816

✉ renkei@med.u-toyama.ac.jp

担当：整形外科

テーマ：地域連携で高める整形外科診療

—大学病院からの最新知見と紹介の最適化—



診療助手
上嶋 亮

変形性膝関節症の地域連携戦略

— 保存療法から手術までの最適な橋渡し —

変形性膝関節症（OA）に対する保存療法から手術治療までの診療戦略について概説する。保存療法として運動療法、薬物療法、関節注射などの基本的治療に加え、活動性の高い患者や比較的早期のOA症例に対する膝周囲骨切り術など、関節温存を目的とした治療について紹介する。さらに、末期OAに対しては、近年導入が進むロボット支援人工膝関節置換術について提示する。

古くて新しい？

当科のCTベーストナビゲーション人工股関節全置換術



診療助手
平岩 利仁

日本整形外科学会創立100年の記者会見で「人工関節は最終手段という時代は終わりました」と述べられました。耐用年数の改善とコンピュータ支援技術の進歩が理由にあり、コンピュータ支援技術として2000年代からナビゲーション手術、2020年よりロボット手術が本邦で導入されています。当科では2018年にナビゲーション手術を導入し、今ではほぼ全例にナビゲーションを使用しています。なぜロボットではなくナビゲーションなのか、ナビゲーションでしかできない手術を中心に説明します。



助教
牧野 紘士

腰痛・下肢症状を呈する患者をどう診るか — 脊椎脊髄外科診療の実際 —

本講演では、腰椎疾患として紹介されたが他疾患が原因であった症例を提示しながら、脊椎脊髄外科診療における鑑別のポイントについて概説する。さらに、近年当院に導入している低侵襲脊椎手術や脊椎手術支援ロボットを用いた治療を含めた脊椎脊髄外科診療について供覧する。